

相澤 真一 ゼミ

教員の研究関心領域

教育社会学、社会階層論、社会調査、歴史社会学などを専門としています。最近、自分で着手しているテーマは、人口減少期における高校配置の都道府県間の違いの調査、戦後日本の貧困調査資料の復元と再分析、中等教育の試験制度や教育拡大過程の国際比較、中学生における芸術接触体験の効果などに取り組んでいます。こうやって書くと、難しく聞こえるかもしれませんが、教育、階層、貧困、試験、歴史、国際比較といったテーマでさまざまな研究に取り組んでいます。

4年までのテーマ・方針・内容

演習Ⅰでは、最初は教科書を使いながら、基礎知識を身に付けていきます。その上で、もう少し専門的な文献まで読めるような文献講読の機会を設けていきます。ここで得た知識を踏まえて、演習Ⅱでは、具体的に社会調査を行っていきます。教育社会学では、実証的なデータを重視しますので、ぜひ社会調査科目や社会調査実習を合わせて受講していくと良いと思います。演習Ⅲでは、自分たちそれぞれのテーマで卒論、ゼミ論を書いてもらいます。全体として、文献講読や研究において個人が一人前に発表できるようになることを重視していきます。

卒業論文のタイトル例

若者にとっての自立とは——“大人になる”という意識はどのように変化したのか
若者の友人関係意識の変化と学校教育の課題——中学生へのアンケート調査を通じて
小学校の英語必修化がもたらすもの
高卒と大卒間における就職意識と実態について
若者の生きる能力について——「コミュニケーション能力」を手がかりに
なぜひとりが嫌なのか——大学生活におけるアンケートとインタビューを通じて
子どもの教育費問題——子どもの学習費調査の分析から
SNSを利用する若者
日本における習熟度別指導の効果

成績評価 基準・方法

ゼミは無遅刻、無欠席を前提としたうえで、個人報告、発言、夏休みの課題、期末レポートで評価を行います。3年終了時には3年ゼミ論文を、4年終了時には4年ゼミ論文あるいは卒業論文の提出を必須としています。

自己紹介 こんな学生を歓迎

今年中京大学に赴任したばかりで、皆さんとゼミをできることをとても楽しみにしています。私自身、ゼミとの出会いが自分の人生を変えてくれました。大学で勉強することに熱心になれる人を強く希望します。部活動やアルバイトと同レベル以上に熱心に取り組んで、高いレベルでの両立を目指す志のある方を歓迎します。楽しく進めていながらも、妥協しない厳しさをもって接していくつもりです。

演習Ⅰ テーマ：教育社会学の基礎を学ぶ

内容 スケジュール

春学期は、『よくわかる教育社会学』を使って、教育社会学の基礎を学んでいきます。可能な限り、教育社会学Ⅰを2年生の春学期に受講して下さい。秋学期は、さらに専門的な文献を自分たちで調べたり、読んだりしながら、基礎知識をつけていきます。

その他

共通テキスト『よくわかる教育社会学』ミネルヴァ書房(ゼミ費で購入する予定)

演習Ⅱ テーマ：教育社会学の調査を進めて、自分のテーマで論文を書いている

内容 スケジュール

春学期は、社会調査実習と結びつけながら、実際に自分のテーマについて、調べてみるためのトレーニングを行います。秋学期は、社会調査実習で集めたデータや教育社会学Ⅱの講義内容と結びつけながら、自分が今持っている具体的なデータをどうやって教育社会学として考察できるのかを考えていきます。学年末には、3年生論文を執筆してもらいます。

その他

共通参考文献『よくわかる卒論の書き方』(ゼミ費で購入する予定)

演習Ⅲ テーマ：自分で選んだ社会学のテーマで論文を完成させる

内容 スケジュール

春学期は、3年生論文とそれぞれの進路希望を踏まえながら、それぞれのテーマに基づいて、質問紙、インタビュー、文献などの調査を進めてもらいます。夏休み明けに中間報告会を行い、秋学期からは本格的に論文執筆を行います。ゼミ論文あるいは卒業論文を必ず執筆してもらいます。年度末には論文集を作成します。

その他

共通参考文献『よくわかる卒論の書き方』(3年次にゼミ費で購入したものをそのまま使う予定)